

一般質問



宮里芳男 議員

- ◇道路行政
- ◇学力テスト
- ◇尚円王生誕600年

問 県道浦添西原線開通により、坂田ハイツ内を通る道路が現在より下がることですが、何メートル下がるのか。又、上の橋げたの道幅は何メートルか。さらに七世帯が孤立化し住民が不安がっている。調査をし、説明会をすべきだと思ふ。

建設部長 県中部土木事務所を確認した所、現在の道路より六、九メートル下がります。又、橋梁の道路幅員は五メートルです。住民説明会については、中部土木事務所と連絡しておりまして、現在検討中とのこと

問 四年ぶりに全国学力テストが実施される。西原町の小学校、中学校の平均点について伺う。又、県内市町村中、何位になっているのか。

教育部長 小学校平均は国語A62.4、国語B48.2、算数A74.9、算数B55.9で全教科とも県平均は上回っている。中学校では国語A71.7、国語B66.9、数学A57.6、数学B32.1でこちらも全教科とも県平均を上回っている。国語Bは全国平均の水準に近い。その他はかなり差がある。又、市町村の順位については、全国学力調査実施要領で各都道府県の教育委員会に市町村名や学校名を公表しない様に求めているため順位に関するデータはなく県内の順位はわからない。

問 平成27年に尚円王生誕六〇〇周年になる。西原町の取り組みについて伺う。又、伊是名村との合同イベント開催が必要だと

思いますが。

この一般質問の内容は、会議録(録音テープ)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、編集委員会が最終確認・編集をしたものです。

教育部長 内閣御殿整備事業を最優先に進めている。地域活性化を図るためにも尚円王六〇〇周年事業は大

事である。事業の構想や取り組み方法は今後検討したい。又伊是名村との合同イベント等についても伊是名村と情報交換も含め、検討したい。

教育長 今後検討委員会が必要かと言うことで取り組んでいる。27年度実施を想定しながら今やるべきことを町長も含めて意見交換している最中である。



翁長児童公園上の住宅(坂田ハイツ)

決議

飲酒運転根絶宣言決議(要旨)

事件事故のない安全で安心な社会の実現は、町民、県民の共通の願いである。飲酒運転は、重大事故や死亡事故に直結する危険極まりない行為であり、何の罪もない人を巻き込み、時には命を奪う悪質な犯罪である。

私たちは飲酒運転による交通事故の悲惨さを深く認識し、運転者一人ひとりの交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場、さらには地域が一体となって、「飲酒運転は絶対にしない・させない・許さない」という強い意志を示さなければならない。

よって、本町議会は、町を始め関係機関・団体との連携を強化し、町民一丸となって飲酒運転根絶に向けて全力を挙げて取り組むことを宣言する。

以上、決議する。

平成25年9月5日

議会

西原町

陳情・意見書等の審議結果

事 件 名	議 決 結 果
県産品の優先使用について(要請)	採択
「社会に支え手」を実践するシルバー人材センターへの支援の要望	採択
西原町自治会事務所建設等補助金交付規則に関する要請書	趣旨採択
平成二十五年度及び平成二十六年度理科教育設備整備等に関する要望書	採択
公共工事発注に際しての事業用自動車(緑ナンバー)使用に関する陳情	採択
「30人以下学級」早期完全実現に関する陳情	採択
「30人以下学級の早期・完全実現」のための意見書	原案可決
「義務教育費国庫負担拡充」及び教育条件整備のための意見書	原案可決



上里善清 議員

- ◇環境対策
- ◇農業対策
- ◇犯罪・事故対策

問 現在、小波津川の整備が行われその完成は近いと思ふが、問題は、河川の水质の向上だ。莫大な予算を投じて下水道の整備はされたが、各家庭の財政面の事情で接続率が悪い状況が続いている。現在の接続率、6月の補正で補助をした以降の接続件数、啓蒙活動について伺う。

建設部長 8月末現在で世帯接続率43%です。上下水道課長 下水道接続の補助は、現在ある浄化槽から改造するものに対して補助をしています。平成24年度実績1年間で50件ぐら

いですが、今回の補助以降の申請は48件、5か月程度

で1年分はでている状況です。

建設部長 接続啓蒙活動として、下水道接続推進員の個別訪問による接続依頼、下水道接続に関するパンフレットの配布及び町広報誌への掲載、事業推進パレードや課長以上の職員による別訪問を行っています。

問 農家が西原浄水場へサトウキビへの散水として使っても野菜等には雑菌等の問題があり難しい。雑菌処理施設建設を県へ要請できないか。

建設部長 那覇浄化センターにおいては、平成14年度から豊富な下水処理水の一部を高度処理し、トイレ用水や樹木への散水用として活用しており、今後、西原浄水場でも農業用水として利用できるか調査をしなが

ら検討していきたい。

問 情報化社会において、携帯電話やスマートフォンは重要なモバイルツールになっているが、他方、間違った利用により様々な問題も起こっている。卑しい誘惑に引き込まれ、心無い大人の犠牲にな

スマートフォンを検討中・使用中の保護者の方へ
～子どもにスマートフォンを使わせる際の注意点～

2つの回線それぞれにフィルタリングを!

スマートフォンは、携帯電話と同様に、高速通信が可能なインターネットに接続できます。しかしながら、インターネットには、性、暴力、自殺、薬物、セクシュアルなど、子どもに有害な内容が数多く存在しています。また、子どもがインターネット上で悪質な誘惑にさらされ、心無い大人の犠牲になる危険性があります。フィルタリングは、有害なサイトへのアクセスを制限するサービスです。

コミュニティサイトでの犯罪被害の事例を知っていますか?
スマホ利用の注意を促すチラシの一部